

問 小中学校への空調設備の設置を望む

答 総合計画前期中の実施に努力

教育長 小学校3校で約1億3千9百万円、中学校で

問 小・中学校への冷房施設設置の費用は

予算関係も含め、慎重に検討しながら、第5次総合計画の前期中に実現できるように努力していきたい。

教育長 快適な授業環境を作り出す冷房施設の設置は必要と考える。

問 小・中学校に冷房施設を設置すべきと思うがその見解は。

教育長 午前中の早い涼しい時間帯に、国語や算数の授業を行い、暑いときにはプールの活用、体育の授業などを行っている。また、空調設備のある図書室、特別教室などを活用することで授業の効率アップを図っている。

問 過酷な状況での学校教育環境の改善対策は。

約5千7百万必要と試算している。

問 町長として町民の安全と生命を守る立場から原子力発電についての見解は。

町長 国のエネルギー政策の一つとして位置づけてきた以上、原子力発電を含めたエネルギー政策全般を議論する必要があると考える。

東京電力福島第一原発事故により、脱原発の声が高まっているのも事実。

一方、温室効果ガスを大量に出す火力発電に頼り続けることはできない。また、自然条件により発電量が大きく左右される自然エネルギーにも課題は多く、量的にも代替エネルギーとはなりえない。長期的には脱原発を目指すことには反対しないが、今は現実を見極め、危機感を持つと同時に冷静に問題に取り組む必要があると考えている。

環境課長 平成10年度から平成22年度末まで累計

問 太陽光発電の設置状況。またその普及率や普及目標は。

町長 大木町の地域防災計画は、県の防災計画が見直され、原子力関係についても見直しを行うとの知事表明もある。その動向も見極めたいと本町の地域防災計画の見直しに着手したい。

問 原発事故に対する防災対策は。

町長 これからは環境負荷の最小化や災害をはじめとするリスクの最小化を目指し、省エネルギーや自然にやさしいエネルギーへの転換を考慮した新たなエネルギー政策を構築しなければならないと考えている。

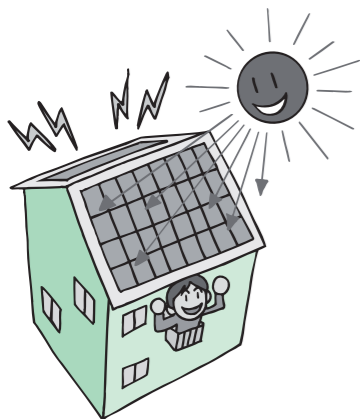
問 原子力に頼らないとすれば町としてどのように取り組むのか。

253件となっており、全世帯に対する戸建て住宅に対する普及率とすると7.72%となっている。

平成25年度段階において総設置件数390件、戸建て住宅で11.9%の普及を目指している。今年度48件の普及を目指し、毎年50件の普及を目標としている。

問 庁舎への太陽光発電設置の進捗状況は。

環境課長 有利な補助事業を検討し、県の配慮により今年度事業の目途がたつたところ。補助事業の採択が決まれば定額の補助金を受け、庁舎屋上に10キロワットの太陽光発電の設置並びに省エネ対策事業を実施する予定である。



問 町内3小学校に学校運営協議会を設置というのだが、中学校には設置しないのか。設置の予定は。

学校教育課長 小学校の学校運営協議会を設置するための推進委員会を設置をし、調査研究を行うことを取り決めた際に、中学校にもその打診を行ったが、当時の学校長より前向きな意向が表明さ

は、学習支援委員会、安全委員会、環境施設委員会、生活(習慣)委員会、ふれあい委員会の5委員会により活動。大荒校区民協議会は、学習支援委員会、地域安全委員会、地域交流委員会、幼保小中連携委員会、青少年育成委員会の5委員会により活動。それぞれが校区内の皆さんの参画をいただき、掘干し祭り、収穫祭、大荒祭りなど特色ある事業を校区を挙げて実施され、学校との連携、子供たちの安全安心の確保などに取り組んでいただいている。



子供たちによる芝生の定植作業



校区民議会 会議の様子

問 町指定文化財は6カ所だが指定番号はない三島神社楼門が掲載されている。このような未指定文化財に対して、指定は今後行うものなのか。また、大木町文化財専門委員会の直近の調査審議の状況は。

生涯学習課長 現在、6カ所については、平成11年に大木町の有形文化財の中で古いものから、それぞれの種類の代表的なものから、文化財専門委員会と協議し、県を通じ文化庁のほうに報告をしている。

三島神社の楼門と未指定の文化財について今後指定の計画はないが、文化財専門委員

れなかったことで、同時の調査研究は見送りをしていこうだが、3小学校に学校運営協議会が平成24年の4月1日をもって整備される状況になるので、その折には、調査研究のための推進委員会の設置をより強く中学校には求めている。

問 村なかにあるおこぼさんなど文化財の指定はないが、身近な歴史や文化を伝承する意味で建物の修理や維持管理を行うに当たり、補助金や助成金、また管理者の負担を軽減する考えは。

生涯学習課長 現在この文化財保護についての予算は、特段修理等の予算というものは組んでいない。予算として上げているのは、文化財の表示板の修理などに一定の予算をつけているところである。指摘の文化財の修理等については、今後検討課題として考えていきたい。

から非常に貴重なものであるという意見を伺っているので専門委員会でも協議し重要な価値のあるもの等については、随時検討し、指定できたらと考えている。



手入れの行き届かないおこぼさん



荒牟田のおこぼさん